平成29年度
事　業　報　告

１．事業概況

日本経済は、好循環が広がりつつある中で、企業収益の拡大や雇用環境の改善等の持ち直しの動きを示しており、おおむね緩やかな回復基調が続いていると言われております。

完全失業率は、平成28年度平均で３．０％と平成６年度以来22年ぶりの低い水準となり、有効求人倍率は平成28年度平均で１．３９倍と平成２年度以来26年ぶりの高水準となるなど、雇用情勢は改善が続いております。統計を取り始めた昭和38年以降初めて全ての都道府県で１倍を超える水準となり、雇用者数は４年連続で増加し、雇用形態別にみても正規雇用労働者は２年連続で増加するとともに、不本意非正規雇用労働者は減少するという動きもみられます。

65歳以上の高齢者の就労状況の推移をみると、労働力人口は平成14年以降増加傾向で推移している中で、平成24年から男女とも労働力人口比率も上昇していると言われております。

雇用形態別の雇用者数をみると、非正規雇用労働者の増加に加えて、正規雇用労働者も緩やかに増加しており、平成28年には前年差６万人増の99万人となっております。

そこで、高齢者の雇用者数を職業別にみていくと、最も多いのは「運搬・清掃・包装等従事者」の78万人で、「サービス職業従事者」、「事務従事者」と続いており、直近３年間の動きをみると、雇用者数の多い職業で更に雇用者数が増加していることが伺えます。

このような情勢にあって当センターは、公益社団法人岩手県シルバー人材センター連合会傘下の法人として、「受託事業」、「労働者派遣事業」、「有料職業紹介事業」と地域社会のニーズに合わせた契約形態での受注を三本柱として進めてまいりました。

このほか高齢者活用・現役世代雇用サポート事業、二年目となりました地域就業機会創出・拡大事業として、まだまだ湧き出る「シルバーパワー」を発揮する場として駅前さろん「銀」を運営してまいりました。

平成28年10月24日に発生した伐木作業中における事故に関わって、平成29年９月７日に当センターが提訴された件につきましては、関係機関をはじめ会員の皆様には多大なご心配をお掛けいたしておりますが、現在代理人弁護士を通じ、係争中でありますことをご報告申し上げます。

今年度特筆すべきは、遠野市において岩手県内初の生涯現役促進地域連携事業となる遠野市生涯現役いきいき促進協議会が設立され、当センターも構成組織として相互の情報交換等連携して行くこととなりました。

なお個別の計画に対する取り組み状況については、以下のとおりであります。

第１　会員、補助金の状況

１　会員の状況

（単位：人）

	今年度末会員数	入会会員数	退会会員数	前年度末会員数	増　減
男	147	16	18	149	△ 2
女	70	8	12	74	△ 4
計	217	24	30	223	△ 6

２　補助金の状況（事業実施のための財源報告）

（１）厚生労働大臣より事業実施のために、高年齢者就業機会確保事業費等補助金として、5,621千円補助、雇用開発支援事業等補助金として4,710千円補助

（２）遠野市長より上記事業実施のために、遠野市高年齢者就業機会確保事業費等補助金として10,381千円補助

第２　事業報告

１　雇用によらない就業機会の提供

（１）　受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、地域に密着した就業機会の提供を行った。

事業目標等	目　標　値	実　績　値	達　成　率	備　　考
会　員　数	260人	217人	83.5%	
受注件数	1,300件	1,209件	93.0%	
就業延人数	14,500人日	13,812人日	95.3%	
配分金総額	51,891千円	49,373千円	95.1%	
就　業　率	100%	100%	100%	

（２） 独自事業

高齢者の就業機会を広げるため、また、地域社会に貢献し、就業を通じて社会に参加することを高齢者が独自の創意工夫により、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を創出する事業を行った。

（単位：円）

種　　別	数　量	配分金	事務費	材料費	合　計
ＩＢＣまつり	１回	6,177	923	0	7,100
インターネット販売	１回	5,000	750	4,104	9,854
遠野市産業まつり	１回	22,090	3,310	0	25,400
シルバーフェア滝沢	１回	23,990	3,610	0	27,600
県外シルバー販売（新座市SC）	４回	270,143	40,557	23,224	333,924
県内シルバー販売	１回	40,798	6,102	0	46,900
畑山葵販売	１回	237,767	35,665	146,040	419,472
門松製作販売	101対	394,075	59,111	169,314	622,500
産直コーナー	12月	61,683	9,267	620	71,570
駅前さろん「銀」ｼﾙﾊﾞｰ産直等	12月	320,715	48,103	477,612	846,430
合　　計		1,382,438	207,398	820,914	2,410,750

（３） 年度実績　（単位：件）

	今年度末実績	前年度末実績	増　減
受託件数	1,209	1,254	△ 45
公共事業	39	41	△ 2
企業等	267	265	2
一般家庭	886	906	△ 20
独自事業	17	42	△ 25
計	1,209	1,254	△ 45
就業延人員	13,812	14,540	△ 728
就業率	100%	100%	0

２　雇用による就業機会の提供

（１）　職業紹介事業

仕事を希望する一般高齢者及び会員を対象とした求人・求職による就業機会の提供を行った。

事業目標等	目　標　値	実　績　値	達成率（％）	備　　考
受注件数	４件	２件	50.0%	
就業延人数	96人日	24人日	25.0%	
賃金総額	960千円	82千円	8.5%	

（２）　労働者派遣事業

労働者派遣事業の派遣元である連合本部の実施事務所として会員を対象に、労働者派遣による就業機会の提供を行った。

事業目標等	目　標　値	実　績　値	達成率（％）	備　　考
受注件数	45件	53件	117.8%	
就業延人数	1,750人日	2,104人日	120.2%	
賃金総額	12,500千円	9,789千円	78.3%	

３　就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

（１）　講習事業

就業上必要な技能、知識を付与することにより、多様な就業に結びつけるための学習経験の機会として、市民や会員を対象に以下の講習会を実施した。

①襖・障子張り講習　　１回

②高齢者のためになる講習(接遇)　　１回

第３　事業推進のための活動

１　事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

高齢者の生きがいの充実と福祉の向上を図り、活力ある地域づくりに寄与するため、また、上記第２の事業及び社会参加活動を推進するための活動として以下のとおり実施した。

（１）普及啓発事業

シルバー事業への理解と高齢者の加入促進及び意識啓発を目的とし、次の事項を重点に実施した。

①　普及啓発促進月間活動（シルバー人材センター幟旗掲出）

②　センターホームページ、マスメディアへの情報提供（ケーブルテレビ、岩手日報）

③　各イベントの参加（産業まつりにおいて入会促進・就業拡大リーフレットの配布を実施）

④　会報の発行２回（発注者・各公共機関）

（２）安全・適正就業の推進

会員が自らの健康維持と安全の確保を図りながら、提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、以下のとおり安全意識の高揚と啓発活動を実施した。

①　安全衛生管理委員会　　２回

②　安全大会　　１回（101名参加）

③　安全パトロール　　７回（13現場）

④　交通安全教室　　１回（22名参加）

⑤　普通救命講習　　１回（27名参加）

（３）調査研究

高齢者の就業分野を支える有用な社会システムとしての機能を果たすためには、社会経済環境の変化、高齢者の就業に対する意識の変化に対応した事業の展開が求められることから、以下について実施し事業の策定に活用した。

①　会員の就業に関する状況調査（会員192名）

②　会員６か月・１年経過者研修（会員24名）

③　市民を対象としたアンケート（150名）

④　新会員対象者に向けたアンケート（21名）

（４）就業分野の開拓・拡大

会員にふさわしい仕事を受注することで、会員の確保とともにセンターの事業の発展・拡大にもつながることから、以下のとおり実施し高齢者の職業能力や経験を把握分析し、地域のニーズに対応する仕事の提案等を行った。

①　会員個々の協力を得ながら、リーフレット等を利用した口コミによる説明

②　屋外就業の際、センター幟旗の掲出

③　センター名入りマグネットを会員車両に貼付

（５）相談・情報提供

入会希望の高齢者を対象に入会説明会を実施し、ハローワーク、連合会と連携し雇用、就業等に係る相談及び情報提供を行った。

①　入会希望者説明会（毎月２回）

（６）社会参加活動の推進

自主的活動に対する意識や、共助の精神で共働するという意識を高めることをボランティアや社会参加等を通して活動する機会を提供した。

①　草刈・草取・剪定作業　　たかむろ水光園

②　草取・清掃・剪定作業　　鍋倉公園

③　各地域班毎清掃・草取等作業　　市内18箇所

④　下校児童の「みまもり隊」活動

（７）その他

遠野市をはじめとする関係機関と連絡を密にし、適正な事業運営に努めました。